

令和5年度 授業改善推進プランのねらい

昭島市立拝島第三小学校

・児童の興味・関心を高め、理解を深めることにより各教科のねらいを達成し、学力向上を図る。

授業改善推進プランのポイント

・基礎的・基本的な内容の定着 ・問題解決の過程を重視し、資質・能力を高める授業 ・ICT機器の有効活用

授業改善推進プラン 各学年の取り組み(学年にあった教科のねらいを達成するために)

	国語	算数		
1年	<p>【単元名】 1学期「うみのかくれんぼ」説明文 2学期「じどう車くらべ」説明文 3学期「いいこといっぱい1年生」書く</p> <p>【具体的な方策】 ①音読や漢字の指導に重点を置く。漢字は短文作りなどを通して、文章の中で使えるようにする。 ②話型などを通して、話すこと・聞くことの指導を充実させる。 ③ICTで挿絵を提示したり、くじらニングの演習を個別に取り組みせたりする。 ④読み聞かせなどを行い、読書活動の充実を図る。 ⑤観察や経験したこと、感想など書く活動を日常的に取り入れる。 ⑥語彙を増やすために、ことわざの暗唱やカルタに取り組む。 ⑦朝の学習タイムにかなかなの練習を毎日実施し、習熟を図る。</p>	<p>【単元名】 1学期「あわせていくつふるといくつ」 2学期「たしざん」「ひきざん」 3学期「たしざんとひきざん」</p> <p>【具体的な方策】 ①ICTを使って視覚的に分かりやすく提示する。 ②算数ブロックやカードなどの具体物や半具体物を使った操作活動を多く行い、反復練習することで計算力に繋げる。 ③学習の導入時に、課題をもって自分で解き、発表し合う問題解決型の授業を行う。→どんな時？ ④ノートの書き方を手本を示して指導する。 ⑤授業開始時、計算問題に取り組む。 ⑥タブレットを活用し、くじらニングの演習を個別に取り組みせる。</p>		
2年	<p>【単元名】 1学期「スイミー」物語文 2学期「お手紙」物語文「馬のおもちやの作り方」説明文 3学期「スーパの白い馬」物語文 通年 漢字学習・ことばの学習・日記</p> <p>【具体的な方策】 ①時間的な順序や、事柄の順序を表す言葉を見つけ、出来事の内容をつかめるようにする。 ②考えが分かるように説明する順序を考えたり、感想を短い文で書いたりできるようにする。 ③日々の漢字学習の際に、漢字の成り立ちや意味を考え、学習した漢字を使った言葉集め、文作りを通して、語彙を増やす。 ④デジタル教科書を効果的に活用する。</p>	<p>【単元名】 1学期「たし算のひっ算」「ひき算のひっ算」「時ごと時間」 2学期「長方形と正方形」かけ算 3学期「4けたの数」「箱の形」「分数」</p> <p>【具体的な方策】 ①基礎基本の定着のために、毎日家庭学習の課題に出す。復習をしながら、繰り返し計算練習に取り組みせるようにする。 ②図形や数量関係の領域では、30cmものさしや直角三角形などの具体物を使用する。デジタル教科書を活用し、視覚的にイメージがしやすくなるようにすることで理解を深める。 ③日常生活との関連を示し、児童自ら活動する機会を多く取り入れる。 ④タブレットを活用し、くじらニングの演習を個別に取り組みせる。</p>		
	国語	社会	算数	理科
3年	<p>【単元名】 1学期「こまを楽しむ」説明文 2学期「ちいちゃんのかげおくり」物語文 3学期「これがわたしのお気に入り」書く</p> <p>【具体的な方策】 ①漢字については、家庭学習を活用し繰り返し練習をする。 ②分からない言葉や自分で調べた習慣を付けるために、辞書引きの学習を継続する。 ③朝学習の時間をつけて、漢字の定着を図る。 ④読書の習慣については、図書の日や読書週間、朝読書を通して身に付けさせる。 ⑤ローマ字は、タブレットを活用し、通年で取り組む。 ⑥調べたことや自分の考え、感じたことを書く取り組みを継続的に行う。</p>	<p>【単元名】 1学期「わたしたちの昭島はっけん」 2学期「わたしたちのくらしとごと」 3学期「くらしのうつかり」</p> <p>【具体的な方策】 ①タブレットで撮影した写真を大型テレビ等で提示し視覚的な支援を行う。 ②地図記号の小テストやかるたを使って、定着を図る。 ③資料やグラフの読み取りを丁寧に指導する。 ④ノート指導の充実を図る。 ⑤調べ学習・見学を通して、分かった情報を選んだり整理したりしてまとめる力をつける。</p>	<p>【単元名】 1学期「あまりのあるわり算」 2学期「円と球」 3学期「三角形と角」</p> <p>【具体的な方策】 ①図や式や言葉で考えたことを表出させ、それらを説明させ、集団で学び合わせることで、表現の多様さや豊かな数感感覚を育てる。 ②半具体物やデジタル教科書、ICT機器を活用することで、視覚的に理解できるようにし、多様な数の見方や、図形への理解を高める。 ③生活と関連した問題場面を設定し、生活に生かそうという態度を育成する。 ④小数は、0.1をもとにして計算するなど小数や分数の構成を理解させる。</p>	<p>【単元名】 1学期「風やゴムで動かそう」 2学期「物の重さを比べよう」 3学期「明かりをつけよう」</p> <p>①事象提示を工夫し、みんなが問題を考える基礎を育てる。実験や観察の前に予想をたてるようにする。 ②実験の際には、子どもの予想したことができる限り確かめたり調べたりできるように教材を確保する。 ③電気や磁石の学習では、各自が実験できるように教材を準備し、さらなる知識や技能の定着を図る。 ④観察時には、方位磁針や虫眼鏡などを各自使用する。 ⑤電気の通るものと磁石のつくものを、対比させながらまとめ、学習の定着をはかる。 ⑥タブレットを活用して、植物の観察や実験の映像を見ることができ知識や技能の定着を図る。</p>
4年	<p>【単元名】 1学期「新聞をつくる」書く 2学期「ごんぎつね」物語文 3学期「もしものときにそなえよう」書く</p> <p>【具体的な方策】 ①国語辞典やタブレットを利用して、単元の初めに意味調べを行い、分かったことをノートに記録する。 ②物語文や説明文の読み取りを行った後、物語の登場人物に対して、または筆者の考えに対して自分の考えを書く機会を意図的に増やす。 ③授業で学校図書館を活用したり、朝学習などに読書活動を通して読書の機会を増やす。 ④漢字テストなどの学習活動を通して、単語ではなく文章を書かせることにより新出漢字や新しい言語の取得を目指す。 ⑤調べたことわかったことを記録する経験を増やす。調べたことわかったことを整理して自分で考えたことを伝えられるようにする。</p>	<p>【単元名】 1学期「安全なくらし」「住みよいくらし」 2学期「郷土の発展につくす」 3学期「わたしたちの東京都」</p> <p>【具体的な方策】 ①都道府県について、年間を通してミニテストやカルタ、音読などを用いて指導し覚えさせる。 ②学習する場所や施設について、タブレットを活用して調べたり、動画を視聴したり分かったことを記録する活動を風増やす。 ③単元の学習課題を明らかにし、児童の問題意識を高めてから、インターネットや資料等から必要な記事やデータを収集させる。それを基にして、自分の言葉でまとめ、記録することができるようにする。 ④教科書の資料から分かったこと、授業のねらいと結びつけて考え、東京都に貢献してきた人々の思いや願いをノートにまとめる。</p>	<p>【単元名】 1学期「角の大きさ」 2学期「わり算のひっ算(2)」「倍の見方」 3学期「小数のかけ算とわり算」</p> <p>【具体的な方策】 ①定義や性質について、具体物やデジタル教科書を活用し、視覚的に理解させ、理解したことを言語化させる活動を繰り返し、図形や数量についての概念形成を図る。 ②学習したことを具体的な生活場面と関連させ、実感を持って理解させる。 ③課題を自力解決し、図や式や言葉で表出させ、集団で学び合わせることで、表現の多様さや思考力・判断力を育てる。 ④本時の課題、答えを出すまでの過程、答え、本時のまとめなど、毎時間ノートに書くことを繰り返すことにより、学習のより一層の定着を目指す。 ⑤くじらニングを活用して既習事項を繰り返し復習し、基礎基本を定着させる。</p>	<p>【単元名】 1学期「夏の星」 2学期「月や星の見え方」 3学期「冬の重・水のすがたと温度」</p> <p>①星座など学校で観察できないものは、各自の観察結果をみんなでも確認し、全体で正しく理解させる。映像を活用し理解を深めさせる。 ②実験の技能として、理科実験ガソコンロの正しい使い方や安全に行わせる。また、検流計の使い方、読み取り方も実験を通して、定着させる。 ③調べたいことの問題を作り、予想・仮説を立てて問題解決することにより論理的思考力を養う。 ④問題解決の過程「予想、方法、実験、結果から分かること」をまとめる指導をしていく。 ⑤電気の通るものと磁石のつくものについては繰り返し、学習の定着を図る。 ⑥実験や観察などの体験をできるだけ一人一人ができるようにしたり、見ええな実験では可視化したりする工夫をして、実験結果や自分の考えを書きやすくする支援を行う。</p>
5年	<p>【単元名】 1学期「みんなが過ごしやすい町へ」書く 2学期「グラフや表を用いて書く」書く 3学期「大造いさんとガン」物語文</p> <p>【具体的な方策】 ①文章構成図を使って全体を一覧できたり、振り返ったときに学習内容が一目で分かったりできるノートの取り方を指導する。 ②国語辞典やタブレットを利用して、言葉の意味の理解を深め、語彙を増やす指導をする。 ③物語文や説明文の読み取りを行った後、物語の登場人物の気持ちや筆者の考えに対して自分の考えを書く機会を増やす。 ④テーマに沿って自分の考えを書いたり、様々な文章を読んで自分の考えを書く活動をする。</p>	<p>【単元名】 1学期「日本の国土とわたしたちのくらし」 2学期「未来をつくり出す工業生産」 3学期「国土の自然とともに生きる」</p> <p>【具体的な方策】 ①大型モニターやタブレットなどを活用し、イメージをもたせ、資料の比較や変化を理解できるように、視覚的に分かりやすく提示する。 ②資料やグラフの読み取り方を丁寧に教え、問題解決の場面を多く取り入れる。 ③グループ学習を取り入れ、互いの意見を交流する場面を多くとり、児童相互の関わりを大切にす。 ④授業で扱う地名等は、地図で確認し都道府県についても定期的に復習できるようにする。</p>	<p>【単元名】 1学期「合同な図形」 2学期「単位量当たりの大きさ」 3学期「割合」</p> <p>【具体的な方策】 ①デジタル教科書を活用し、視覚的に理解させ、理解したことを言語化させる活動を繰り返し、図形や数量についての概念形成を図る。 ②図や式や言葉で考えたことを表出させ、集団で学び合わせることで、表現の多様さや思考力を育てる。 ③乗法や除法の立式をしたり、式の意味を説明したりする際には数直線の図を活用させる。段階的に数直線のかき方・見方を身に付けさせる。 ④くじらニングやドリル等で繰り返し復習することで、基礎基本を定着させていく。</p>	<p>【単元名】 1学期「魚のたんじょう」 2学期「人のたんじょう」 3学期「もののとけ方」</p> <p>①メダカの誕生や天気の変化、人の誕生の単元では、一人一匹の稚魚を育て、理解を深めていく。卵の成長や雲の動きなどは、できるだけ子供に観察させ、絵や文などの方法で記録させる。 ②導入に具体物を提示し、自然の事物や現象に目を向けさせ、クラスで条件を整理する時間を確保することで正しく実験が行えるようにさせる。 ③予想に理由をつけたら、結果から分かることを自分の言葉で書かせたりすることで、子供たちの科学的思考を高めていく。また、子供同士で考えを交流させていく。</p>
6年	<p>【単元名】 1学期「時計の時間と心の時間」説明文 2学期「みんな楽しく過ごすために」話す・聞く 3学期「思い出を言葉に」書く</p> <p>【具体的な方策】 ①物語文や説明文の読み取りを行った後、物語の登場人物の気持ちや筆者の考えに対して自分の考えを書く活動をする。 ②文章の構成を考え、必要な情報を関連づけながら理由を明確にして書けるようにする。 ③友達と意見を交流することを通して、自分の考えと比較し、自分の考えを深めていくようにする。 ④漢字テストなどの学習活動を通して、文章を書かせることにより新出漢字や同音異義語など、言語の取得を目指す</p>	<p>【単元名】 1学期「わたしたちの暮らしを支える政治」 2学期「全国統一への動き」 3学期「平和や豊かな暮らしを目指して」</p> <p>【具体的な方策】 ①調べ学習を通して、教科書、資料集、インターネットなど、課題に応じて適切に情報収集する手段を選択する基礎的・基本的能力を育てる。 ②資料を比較したり、関連付けたりして共通点や相違点に気付かせ、思考力を高める。 ③毎時間、課題を明確にする。学習のまとめでは単元の学習問題に対する自分の考えを書かせる。 ④調べ学習、資料作成、話し合い活動でICT機器を活用し、思考力・判断力を高める。</p>	<p>【単元名】 1学期「比」 2学期「拡大図と縮図」 3学期「6年間の復習」</p> <p>【具体的な方策】 ①単元の導入部分で、前単元までに学習したことを振り返り、新たに学習する内容との違いに気付かせる。中学校で学習する内容につながるよう指導する。 ②デジタル教科書を活用し、視覚効果を生かして学習を進める。拡大図と縮図に関する知識や図形のかき方の既習事項の確認をおさえつつ、作図に取り組みさせる。 ③導入の視覚化を工夫し、問題場面を捉えやすくし、必要な情報を考えさせるようにする。</p>	<p>【単元名】 1学期「物の燃え方と空気」 2学期「月の形と太陽」 3学期「水溶液の性質とはたらき」</p> <p>①体はたらきでは、映像を活用すると共に、人体模型も合わせて見ていくことで、体の部分についての理解を深めさせていく。さらにデジタル教科書を使い、臓器の名前とはたらきを覚えさせる。 ②気体検知や検流計については、正確に使えるようにさせる。既習の理科実験ガソコンロなどの使い方や安全な使用方法も振り返りながら安全に使わせる。 ③水溶液では、危険な液体を調べていくときの注意点を子供たち自身に考えさせることで、安全に活動することを意識させる。 ④要因や規則性、関係を推論しながらグループ活動を通して問題解決学習を行わせる。月の満ち欠けの学習では、観察、ボールでの実験、映像を掛け合わせながら学習させることで、考えを深めさせていく。</p>

★改善のポイントは各学年の年間計画・週案簿に朱書きし、授業改善を行う。